

第4回 NIE「わたしの推し記事」コンクール 小学校 最優秀賞

若狭 早 さん(愛媛大学教育学部附属小学校3年)
わたしの推しは、『見えない「香り」に出会う』です!

掲載記事:読売 KODOMO 新聞 2025年10月23日付

見出し:伝説の香りつくり出す かけらを加熱 成分判明

他人に薦めたいほど、どうしてこの記事に魅力を感じるか、この記事が広まれば社会にどんな変化があるかを書いてください(600字以内)

いいにおいをかぐと、ぼくは幸せな気分になります。何かしっばいしてしまっても、あま
いにおいをかけば元気を取りもどせます。

すぐれた刀を名刀、すぐれた作品を名作などと言いますが、「名香」もあることをこの
新聞記事ではじめて知りました。「らんじゃたい」という名前、1000年よりもっと昔の木
であると言われてなっとくの見え目。しかし「すごい」ことは分かって、どんな香りがす
るのかは予想もつきません。

その時、香りは目に見えないものだ気づきました。科学の力を使って「らんじゃた
い」を分析しながら、調香師の方が香りをかいて組み合わせを考える取り組み。これは
今の時代だからこそできることだと思いました。科学が進歩していること、においを感じ
る「人の力」もしんじられていること。そして「らんじゃたい」がまだ香るということ。だから
こそ見えない「香り」に出会えたのだ、と記事が教えてくれました。ぼくはそのすごさを多
くの人に知ってもらいたいです。

香りをつくる時に「バニラなども加え」と書かれていたので、お家のバニラエッセンス
をかいてみました。プリンやシュークリームなどの、あまくておいしそうなおいがしまし
た。ただし、なめると苦いので注意です。

450年ほど前、織田信長もかいた香りをつくり出すことには、ロマンがあります。そん
な記事をこれからも読みたいと思います。